

## シンポジウム 生物多様性と企業の役割 ～パーム油の現場から～

私たちの日々の生活や経済活動は、自然生態系からの多くの恩恵から成り立つと同時に、自然にも大きな影響を与えています。

生物多様性基本法や第三次生物多様性国家戦略などの策定により、日本でも生物多様性の保全と持続可能な利用にあたっての議論が高まり、同時に企業の役割が問われるようになってきました。たとえば、食品加工や業務用調理油として私たちの日常生活に欠かすことのできない植物油パーム油ですが、需要急増に伴い、とりわけ森林や泥炭地などの自然生態系に影響を与えています。一方で、持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO: Roundtable on Sustainable Palm Oil）では、持続可能なパーム油のための認証システムが開始しました。

このような背景を受けて、ゼリ・ジャパン、地球・人間環境フォーラム、ボルネオ保全トラストジャパン、サラヤ株式会社は、生物多様性と企業の役割についてパーム油を通して考えるシンポジウムを開催いたします。

### シンポジウム概要

- 日時： 2009年2月17日（火） 10：30～17：30  
場所： 国連大学ウ・タント国際会議場  
主催： NPO 法人ゼリ・ジャパン / 財団法人地球・人間環境フォーラム / NPO 法人ボルネオ保全トラストジャパン / サラヤ株式会社  
後援： 環境省 / 農林水産省  
協力： 株式会社イースクエア、企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)、株式会社クリーン、サステナビリティ日本フォーラム、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、WWF ジャパン、日本環境ジャーナリストの会 (JFEJ)、社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク

### プログラム

(敬称略)

10:30～12:10 セッション1 生物多様性と開発  
Session 1 Biodiversity and Development

イントロダクション～生物多様性と企業の役割

Introduction: Biodiversity and the Role of Business

足立 直樹(株式会社レスポンスアビリティ代表取締役)

Dr. Naoki Adachi, President, Response Ability, Inc

なぜ HSBC が生物多様性に取り組むのか

Why does HSBC take biodiversity seriously?

山田 晴信(HSBC グループ香港上海銀行 在日副代表兼副 CEO)

Mr. Harunobu Yamada, Deputy Chief Executive Officer and Deputy Country Manager

The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited

土地利用転換の現場から～生物多様性と地元の伝統社会～

What Actually Happens with Land Use Conversion- Biodiversity and Local Traditional Society

満田 夏花(地球・人間環境フォーラム)

Ms. Kanna Mitsuta, Global Environmental Forum

質疑応答

Questions and Answers

13:20 ~ 15:50 セッション2 持続可能なパーム油の可能性と課題  
Session 2 Prospect and Challenges for Sustainable Palm Oil

持続可能なパーム油 (SPO) 認証の最新動向

Updates on the Sustainable Palm Oil Certification

M.R. チャンドラン(持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)顧問)

Mr. M.R. Chandran, Advisor to Executive Board, RSPO

ヤシノミ洗剤とボルネオの森

Yashinomi Detergent and Borneo Forest

更家 悠介(サラヤ株式会社代表取締役社長)

Mr. Yusuke Saraya, President, Saraya Co., Ltd.

RSPO-CSPO オンライン・トレーサビリティシステム

RSPO-CSPO Online Traceability System

オルティスリベラ美由紀(グッドインサイド日本市場担当)

Ms. Miyuki OrtizRivera, General Manager, Good Inside program in Japan.

質疑応答

Questions and Answers

アブラヤシ農園開発の課題と RSPO の役割

Challenges of Palm Plantation Development and the Role of RSPO

ノーマン・ジワン(サウィット・ウォッチ リサーチャー)

Mr. Norman Jiwan, Researcher, Sawit Watch

ボルネオ保全トラストが提供する資源利用を持続可能にするメカニズムとその成果  
～灰色パーム油商品を白くする方法～

Mechanism for Sustainable Use of Resources that Borneo Conservation Trust Provides and Our Achievements – A way to make suspicious palm oil products to sustainable one

坪内 俊憲(ボルネオ保全トラスト事業責任者・星槎大学共生科学部准教授)

Dr. Toshinori Tsubouchi, COO of Borneo Conservation Trust (BCT)

質疑応答

Questions and Answers

16:00 ~ 17:30 セッション3 パネルディスカッション「生物多様性と企業の役割」  
Session 3 Panel Discussion “Biodiversity and the Role of Business”

コーディネーター： 足立 直樹(株式会社レスポンスアビリティ代表取締役)  
パネリスト： M.R. チャンドラン(持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)顧問)  
ノーマン・ジワン(サウィット・ウォッチ リサーチャー)  
オルティスリベラ美由紀(グッドインサイド日本市場担当)  
更家 悠介(サラヤ株式会社代表取締役社長)

**Coordinator:** Dr. Naoki Adachi, President, Response Ability, Inc.  
**Panelists:** Mr. M.R.Chandran, RSPO adviser  
Mr. Norman Jiwan, Researcher, Sawit Watch  
Ms. Miyuki OrtizRivera, General Manager, Good Inside program in Japan.  
Mr. Yusuke Saraya, President, Saraya Co., Ltd.

講師略歴

(敬称略・登壇順)

足立 直樹(あだち・なおき)

理学博士/サステナビリティ・プランナー、株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役  
企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB) 事務局長

1995年から2002年まで国立環境研究所で熱帯林の研究に従事。1999年から3年間のマレーシア森林研究所勤務の後、コンサルタントとして独立。多くの先進企業の環境経営とCSRのコンサルティングを行っている。特に力を入れているのは「企業による生物多様性の保全」と「CSR調達(サプライチェーン・マネジメント)」で、アジアにおけるCSRの推進についても取り組んでいる。

山田 晴信(やまだ・はるのぶ)

HSBC グループ香港上海銀行 在日副代表兼副 CEO

福岡県出身。東京大学卒業後、通商産業省入省。1979年ハーバード大学経営学大学院にてMBA取得。1981年モルガン・スタンレー社(ニューヨーク本社)入社。1996年内閣総理大臣補佐官付調査員に任命(政治任用)、水野清内閣総理大臣補佐官(行政改革会議事務局長)を補佐。1998年HSBC証券会社常務取締役に就任(投資銀行部担当)、2000年11月よりチーフエグゼクティブ。2005年5月HSBC証券会社代表取締役社長に就任。2007年6月より現職。1992年よりは慶応義塾大学大学院経営管理科(ビジネススクール)証券市場論担当の非常勤講師、2003年度より2007年度まで大学教授(非常勤)を兼任。2001年日本CFO協会理事、2006年より2008年東京女子大学評議員。2008年3月より同大学理事に就任。

満田 夏花(みつた・かな)

地球・人間環境フォーラム主任研究員

東京都出身。地球・人間環境フォーラムにおいて、環境問題の調査に携わる。現在は、「発展途上国における企業の社会的責任」、「国際金融機関/開発援助機関の環境社会配慮」、「原材料調達における持続可能な自然資源管理」などをテーマとした調査研究・政策提言に従事している。

M.R. チャンドラン (M.R. Chandran)

持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO) 顧問

オーストラリアのアデレード大学農業経済技術学部を 1960 年に卒業。それ以来 48 年間農産物産業に従事し、樹木作物プランテーション部門で、事業経営マネジメントに携わっている。Socfin Company Ltd に 35 年間勤務し、最後にはプランテーション部門取締役となったが、1996 年退職。その後、マレーシアパーム油協会 (MPOA) の最高責任者として、設立に携わり、1999 ~ 2005 年まで勤務。また、持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO) の設立に尽力。功績が認められて RSPO 名誉会員になった現在でも、理事会やさまざまな事業への助言、執筆活動のかたわら、国内外の会議での講演を行っている。

更家 悠介 (さらや・ゆうすけ)

サラヤ株式会社代表取締役社長

大阪大学工学部卒業後、カリフォルニア大学バークレー校工学部衛生工学科修士課程修了。1976 年 1 月 サラヤ株式会社入社、取締役工場長就任。1998 年 2 月 代表取締役社長就任、現在に至る。さまざまな経済関係団体および環境関係団体の理事などを担う。2006 年 10 月 BCT 理事 (ゼリ・ジャパン理事長として) に就任。

オルティスリベラ美由紀 (おるていすりべら・みゆき)

グッドインサイド認証プログラム日本市場担当

東京都出身。メキシコのラス・アメリカス大学国際関係学部卒業。フリーランスのスペイン語通訳者・翻訳者を経て、1992 年よりコロンビア・コーヒー生産者連合会アジア事務局に勤務。2006 年よりグッドインサイド認証プログラム(旧 UTZ KAPEH)日本市場担当。現在、暫定的にほかのアジア諸国市場も担当している。

ノーマン・ジワン (Norman Jiwan)

サウイット・ウォッチ、リサーチャー

インドネシア、ボルネオ島西カリマンタンのダヤック先住民族出身。西カリマンタンのタンジュンプラ大学で教育学を修める。Friends of the Earth Indonesia の西カリマンタン支部で 2 年間活動したのち、2004 年よりサウイット・ウォッチの調査・開発部門に所属し、パーム油に関する調査・発表を行っている。世界各国の環境や社会問題を扱う会議やイベントに講演者として招かれている。またサウイット・ウォッチを代表して、RSPO に出席し、2008 年末からは、RSPO 理事メンバーに就任。その他共著や記事の発表も多数。

坪内 俊憲 (つぼうち・としのり)

ボルネオ保全トラスト事業責任者、星槎大学共生科学部准教授

1980 年、北海道大学大学院獣医学研究科修士課程を終了後、2 年間ザンビアにて青年海外協力隊に参加。帰国後、薬品会社の研究員を務めた後、国際協力事業団(JICA)派遣野生生物保全管理専門家として中南米・東南・東アジア・中近東・アフリカ諸国で数多くの調査業務を参加。1999 年京都大学人間環境学研究科博士課程修了。2003-2007 年まで JICA(現・国際協力機構)マレーシア連邦サバ州ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム野生生物生息域管理専門家として派遣され、2007 年 1 月からボルネオ保全トラスト事業責任者として活動を開始。同年 4 月から星槎大学共生科学部准教授。講演、論文多数。